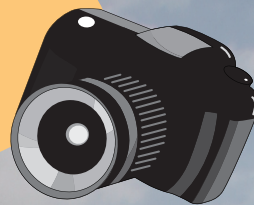


マイタウン・フォト

— まちの話題を写真で紹介 —



2015-2 広報おしやまんべ No.818

2月2日発行

長万部町役場 ☎01377-2-2000(代)
〒049-3892 北海道山越郡長万部町字長万部453番地1

ホームページ
<http://www.town.oshiamambe.lg.jp/index.php>

編集 まちづくり新幹線課
印刷 株式会社印刷部
(株)長門出版社印刷部



長万部町営スキー場

長万部町営スキー場の歴史をたどると、興味深いことが浮かび上がってきます。

もともとは個人の所有地で、ふもとは焼き場（火葬場）があったそうです。今で言う火葬やその従事者を「おんぼ焼き」と呼んでいた頃の話です。

山の斜面にはほとんど木が生えていなかったため、通称「ぼうず山」または「ぼんず山」と呼ばれておりました。

いつの頃からか、冬になると地元のスキーヤーが斜面の雪を整備して滑るようになったそうです。

その流れから昭和36年4月にスキークラブが設立されたとか。

冬場の利用が定着してくると、いつしか町民の間では「温泉スロープ」という愛称が浸透していきました。実際の所在地は陣屋町なのですが、「温泉街の近くにある坂」という意味だったのでしょうか。

その後、町が土地を買い上げて昭和49年に町営スキー場として整備して以来、冬の遊び場としてずっと親しまれてきました。

ロープトウが利用できるようになったのは平成3年からで、現在の機械は2代目です。

長万部の街並みと内浦湾を見渡し、わずかながら地球の丸さを実感できます。(◎-◎;)